

産後1か月までの会陰部痛が母親の育児行動と自信に与える影響に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

以下の産婦人科院で明示した期間にご出産され、本調査への参加協力に同意いただき参加していただいた方々；

- ・2018年5月8日～2018年8月30日に医療法人東恵会星ヶ丘マタニティ病院にて質問用紙に回答して下さった方。
- ・2018年6月18日～10月2日に大垣市民病院にて質問用紙に回答して下さった方。
- ・2018年6月13日～8月17日に医療法人森永産婦人科にて質問用紙に回答して下さった方。
- ・2018年7月2日～8月5日に産婦人科中原クリニックにて質問用紙に回答して下さった方。
- ・2018年8月1日～10月31日に中西ウィメンズクリニックにて質問用紙に回答して下さった方。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的は、初産婦経産婦別に、分娩体験の満足度が、産後早期の母親役割の満足感やボンディングとの関連を明らかにすることです。2018年から継続中の研究「産後1か月までの会陰部痛が母親の育児行動と自信に与える影響に関する研究」に参加されたお母さまからいただいた質問紙調査結果について、分娩体験の満足度が、産後早期の母親役割の満足感やボンディングとの関連を明らかにすることを目的に分析させていただきます。

研究方法は、データ収集が終了し、名古屋大学医学部保健学科本館4階405室に保管されている185名分の匿名化された情報（初産82名、経産103名）について、研究責任者から新規分担者へUSBを介して直接手渡しします。譲渡される情報については、以下に記しますが、対応表を用いた個人情報保護を実施しており、すでにID化されているため、個人が特定される情報は一切ありません。

- ・お母さまの属性：年齢、婚姻状況、分娩回数
- ・分娩時情報：分娩時週数、分娩様式、分娩所要時間、出血量、会陰外傷の有無、出生体重、生後アプガースコア
- ・退院時調査項目より：分娩満足度VAS得点、母親役割の自信・満足度尺度得点、ボンディング得点

上記に記載しました内容については、統計ソフトを用いて、記述統計、Student-T検定、ピアソンの相関係数を求め、各因子間の関連を量的に解析します。したがって、個人が特定されるような内容は含まれません。

データ解析は名古屋大学医学部保健学科内のみで行い、大学外への持ち出しはせず、使用しない場合は、名古屋大学医学部保健学科本館4階405室に保管することで情報漏洩防止に努めます。

研究期間は倫理審査承認後から2021年3月31日になります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：お母さまの属性（年齢、婚姻状況、分娩回数）、分娩時情報（分娩時週数、分娩様式、分娩所要時間、出血量、会陰外傷の有無、出生体重、生後アプガースコア）、退院時調査項目（分娩満足度VAS得点、母親役割の自信・満足度尺度得点、ボンディング得点）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が当該研究に用いられることについてご本人様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご協力者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：高橋由紀

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 健康発達看護学講座 准教授

名古屋市東区大幸南1の1の20

TEL&FAX: 052-719-1573